

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 造形美術情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 国際展
- (2) 企画展
- (3) 基金巡回展
- (4) 海外展助成
- (5) 造形美術情報交流（催し）
- (6) 市民青少年美術交流助成

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業(アセアン)

造形美術分野での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 24,730,991 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	東アジアクリエーター招へい(第4期)	エンダン・レスタリ ソック・タン ユージン・セン ピシタクン クアンタレーング トゥハ グェン フォン・ホアン・ビック・レー パンゲ・リー サヴィータ・ラニ	陶芸家 現代美術家 シンガポール国立博物館 キュレーター 現代美術家 現代美術家 現代美術家 現代美術家 俳優/演出家	インドネシア カンボジア シンガポール タイ ベトナム ベトナム ミャンマー インド	2010.08.01 ~ 2011.12.31	アジア・大洋州の13カ国から、アート、映画、演劇等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図る
2	東アジアクリエーター招へい(第5期)	バユ・サリスト ヨ・スピヤントロ マハルディカ・ユダ イシャン・サム サラン・ユコングデー ピンパン・スン コーン ブエン・カルバヤン	アニメーター キュレーター シンガポール美術館 プログラムマネージャー プロダクト・デザイナー タイ・クリエイティブ&デザイン・センター プロジェクト・マネージャー キュレーター/アーティスト	インドネシア インドネシア シンガポール タイ タイ フィリピン	2011.08.01 ~ 2012.07.31	アジア・大洋州の13カ国から、アート、映画、演劇等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図る

造形美術事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	モハンマド・デ ニ・アスマン・ハ ジ・マンディ	アニメーター	ブルネイ		
	サンディ・チュー	照明デザイナー/俳 優/ライター	マレーシア		
	ファイルズ・スレ マン	マルチメディア アーティスト	マレーシア		
	シートン・シベン セイ	彫刻家	ラオス		
	アネク・ジャス パース	ニューサウス ウェールズ州立美 術館 キュレーター	オーストラリア		
	ヴィヴィアン・ ホッグ	インディペンデ ント キュレーター	オーストラリア		
	ローラ・プレスト ン	ヴィクトリア大学 ウェリントン校付 属アダム・アー ト・ギャラリー キュレーター	ニュージーランド		

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 造形美術情報交流(招へい)

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 685,397 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	オーストラリア学 芸員招へい	マギー・フィンチ	ヴィクトリア州立 美術館・キュレー ター	オーストラリア	2011.09.05 ~ 2011.10.09	豪州において、日本の芸術写真に対する理解と関心を広め、また日豪学芸員交流の促進を図ることを目的に豪州・ヴィクトリア州立美術館の写真専門のキュレーター、マギー・フィンチを招へい。主に東京都写真美術館にて、専門分野のResearchを行うとともに、2011年10月1日より同館で開催する「畠山直哉 写真展」に対する支援を実施

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 国際展

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 68,043,730 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第13回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展【準備】	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ公園内日本館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	第13回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展における日本館参加を準備。コミッショナーは伊東豊雄(建築家)、参加者は畠山直哉(写真家)、乾久美子(建築家)、藤本壮介(建築家)、平田晃久(建築家)
2	第54回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ公園内日本館	2011.06.04 ~ 2011.11.27	第54回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展において日本館展示「東芋：てれこスープ」展を実施。コミッショナーは植松由佳(国立国際美術館主任研究員)

2. 催し等事業費 / (2) 企画展

国内や海外の美術館、博物館等との協力の下に、日本の美術・文化を海外で紹介する展覧会を海外で企画、主催する。特に「北斎展」など周年事業に対応する大型事業を実施する。

合計額 239,928,024 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	日中国交回復40周年記念美術展事業【準備期間】	中国	北京		2012.12.15 ~ 2013.02.03	日中国交40周年を記念した日本の現代美術展を中国で行うための北京調査出張等の準備を実施
2	WA—現代日本デザインと調和の精神	日本	小平市	武蔵野美術大学美術館・図書館	2011.06.24 ~ 2011.07.30	日常生活の中から現代の日本の優れたプロダクトデザイン約160点を、12のカテゴリー(食器/水まわり/家電/情報/遊具/文具/雑貨/ウェア/包みとバッグ/乗り物/家具/あかり)に分けて展示する。日本のデザインに特徴的に見られる要素として6つのキーワード(かわいい、クラフト、きめ、手ざわり、ミニマル、心くばり)をとりあげて紹介。5カ国6都市を巡回した展覧会の帰国展を実施
3	杉戸洋展	シンガポール	シンガポール	在シンガポール大使館JCC	2011.12.03 ~ 2012.01.14	シンガポールのジャパン・クリエイティブ・センター(JCC)にて杉戸洋の新作個展「Hiroshi Sugito: Paintings and Sketches」を開催、クロージングには建築家の青木淳と杉戸洋との対談を開催
4	新次元 マンガ表現の今日的可能性	フィリピン ベトナム	マニラ ハノイ	アヤラ美術館 ベトナム国立美術館	2011.08.15 ~ 2011.10.01 2011.05.19 ~ 2011.06.16	2000年代の日本マンガ9作品を「マンガ表現の今日的可能性」というテーマに沿って紹介する展覧会。昨年度は水戸とソウルで実施したが、今年度はベトナムとフィリピンで開催し、両国ともに会期1カ月で10,000名余の入場者数を数えて好評のうちに終了

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	JENESYSフォローアップ事業	インド オーストラリア	ニューデリー パース	ラリットカラ・アカデミー パース・インスティテュート・オブ・コンテンポラリーアート(PICA)	2012.01.21 ~ 2012.02.19 2011.11.12 ~ 2011.12.31	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)クリエイター招へいで日本に滞在したアジア各国の若手クリエイターと同世代の日本人クリエイターが共同で企画してオーストラリアのパースとインドのデリーで実施したOmnilogue シリーズの二つの展覧会。パースではOmnilogue: Alternating Currents展、デリーではOmnilogue: Journey to the West展を実施し、各展6名の日本人アーティストが参加
6	呼吸する環礁：モルディブ・日本現代美術展	モルディブ	マレ	モルディブ国立美術館	2012.03.20 ~ 2012.04.19	モルディブ喫緊の課題である環境問題に文化の視点からアプローチする事業。 <モルディブにおける展覧会の開催> 日本人作家が現地滞在して作品を制作。両国作家8組9名の制作した作品(インスタレーション、映像、建築、写真、ドローイング等)で構成されたBreathing Atolls:Japan-Maldives Contemporary Art Exhibition展(呼吸する環礁：モルディブ・日本現代美術展)を開催。共催はモルディブ国立芸術センター。隣接する公園にも一部作品を屋外展示。オープニングには約200名参加。会期中の入場者数は10,172名。同国で本格的な現代美術展が開催される初の機会 <制作過程記録映像(英語ドキュメンタリー番組)> 現地制作の過程を通してモルディブの現状を広く海外に広報するため記録映像制作を実施。企画競争の結果、株式会社日本国際放送(JIB)がドキュメンタリー番組制作を応札。番組名「Breathing Atolls:Creating Art in the Maldives」(本編28分。解説・字幕英語版)。放映は平成24年度(5月25日～26日)
7	「東京1955－1970」展(準備)	米国	ニューヨーク	ニューヨーク近代美術館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ニューヨーク近代美術館にて開催される1955年から1970年までの東京における美術の潮流を紹介する展覧会
8	写真展「旅」展	メキシコ ポルトガル	トルカ レイリア	モデロ科学産業博物館 レイリア市立ギャラリー	2010.10.01 ~ 2010.10.24 2010.05.31 ~ 2010.07.11	2010年に行った「旅展」(写真展)の終了後、作品返却等を実施
9	ローマ日本文化会館開館50周年近代日本美術展【準備】	イタリア	ローマ	ローマ国立近代美術館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	京都国立近代美術館、ローマ国立近代美術館との共催で、日本画及び工芸品80-100点による近代日本美術展を開催
10	田中敦子展	英国 スペイン 日本	バーミンガム バレンシア州 東京	アイコンギャラリー カステジョン現代美術センター 東京都現代美術館	2011.07.27 ~ 2011.09.11 2011.10.07 ~ 2011.12.31 2012.02.04 ~ 2012.05.06	戦後日本の前衛芸術グループ「具体」を代表する女性アーティストとして、近年内外で注目を集めている田中敦子(1932-2005)の欧州初の個展。「具体」の活動期に発表した作品を含め50年に及ぶキャリアの中から厳選された多様なメディアによる作品60～70点(絵画、コラージュ、立体、記録映像等)を展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
11	桂離宮—石元泰博展	ドイツ	ケルン アイヒェンツェル ランゲン ミュンヘン ベルリン	ケルン日本文化会館 ファザネリー城 ヴォルフスガルテン城 ミュンヘン建築ギャラリー バウハウス・アルヒーフ	2011.04.08～2011.06.03 2011.08.20～2011.09.11 2011.09.16～2011.09.18 2011.10.19～2011.11.12 2012.01.18～2012.03.12	日本の王朝の雅を今に伝える桂離宮を個人的な視座で捉えた、石元泰博の写真作品50点を展示。モダンな造形性で知られる石元の写真を通して、桂離宮と言う日本美の精緻をクローズアップ
12	「昭和40年会」展	ドイツ ウクライナ	デュッセルドルフ キエフ	Kunsthalle Dusseldorf Arsenale	2011.05.21～2011.07.03 2011.11.01～2011.11.13	昭和40年に生まれたアーティストグループ「昭和40年会」の展覧会をデュッセルドルフ・クンストハレで実施。海外での初の大規模個展。デュッセルドルフの後、ウクライナ、キエフに巡回し、キエフ・アートフェアの特別展示として実施 【日独交流150周年記念事業】
13	北斎展	ドイツ	ベルリン	マルティン・グロウピウス・パウ	2011.08.26～2011.10.31	欧州で開催される北斎展としては、今世紀最大規模の展覧会。「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」など北斎生誕の地である墨田区所蔵コレクションや『北斎漫画』シリーズなどの版本、肉筆画、版画など約440点により、西洋印象派にも影響を与えた北斎の画業の全容を紹介 【日独交流150周年記念事業】
14	世界遺産登録記念—平泉写真展	フランス ベルギー	パリ ブリュッセル	パリ文化会館 ベルギー大使館	2011.06.23～2011.07.30 2011.11.07～2011.11.25	平泉が世界遺産に登録される機会をとらえ、登録対象となった平泉の建築、庭園及び考古学的遺産群を撮った写真パネルと地元の伝統工芸品である秀衡塗の漆器を併せてパリの日本文化会館で展示し、平泉をアピールする。これにより、日本(東北)への観光も促進
15	ダブル・ヴィジョン：現代日本の美術展	ロシア	モスクワ	モスクワ市近代美術館	2012.03.14～2012.05.09	モスクワ市近代美術館との共催で現代日本美術のグループ展を実施。1960年代からゼロ年代に活躍する作家31名が新作を含む約170点を展示。企画者はエレナ・ヤイチニコヴァ(露のインディペンデントキュレーター)と保坂健二郎(東京国立近代美術館主任研究員)
16	ジャナドリヤ祭日本館展示「武道の精神」展	サウジアラビア	リヤド	ジャナドリヤ祭日本館	2011.04.13～2011.04.29	サウジアラビアの国民的文化行事であるジャナドリヤ祭にて「武道の精神」展を展示するほか、和室のステージ及びびしつらえを設置
17	楽展【準備】	米国	ロサンゼルス	ロサンゼルス・カウンティ美術館	2011.04.01～2012.03.31	楽展の準備のための調査出張等の準備経費
18	展示事業【準備】	米国	ニューヨーク	ニューヨーク近代美術館 (MoMA)	2011.03.01～2011.03.31	MoMAにおける展示事業のためのニューヨークへの調査出張等の準備経費

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
19	「日本美術が笑う」展	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2012. 10. 03 ～ 2012. 12. 15	日本古美術の中から、「笑い」というキーワードで作品を選択して紹介するユニークな展覧会。禅的な精神性、またはマンガ、ポップといったステレオタイプな面が強調されやすい日本文化の新たな側面を検証。パリ日本文化会館、開館15周年を記念して企画された「笑い」をテーマとする事業の一つ

2. 催し等事業費 / (3) 基金巡回展

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化に紹介する展示セットを海外諸国に巡回し、主催する。

合計額 184,589,798 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	ウィンターガーデン	ハンガリー	ブダペスト	エルンスト美術館	2011. 06. 10 ～ 2011. 08. 28	1960年代末以降生まれの若い世代のアーティストによる現代美術作品(平面作品、映像等)から構成される展示セット。本展の企画は、松井みどり(美術評論家)が提唱する、無名、時代遅れと言われるものに新たな用途や文脈を与える「マイクロポップ」(造語)をキーワードに構成
		ロシア	モスクワ	国立現代芸術センター	2011. 09. 23 ～ 2011. 10. 23	
		ロシア	サンクト・ペテルブルグ	トカチー	2011. 12. 17 ～ 2012. 01. 11	
		エジプト	カイロ	ゲジーラ・アート・センター	2012. 02. 22 ～ 2012. 03. 10	
2	キャラクター大 国、ニッポン(A)	フィリピン	マニラ	メトロポリタン美術館	2011. 07. 07 ～ 2011. 08. 20	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展セット。1950～60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター(ウルトラマン、ハローキティ、ガンダム)などを分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力や文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介
		ベトナム	ハノイ	ベトナム美術大学 アートギャラリー	2011. 10. 06 ～ 2011. 10. 23	
		ベトナム	フエ	フエ市ホーチミン博物館	2011. 11. 02 ～ 2011. 11. 13	
		ベトナム	ホー・チ・ミン	ホーチミン市博物館	2011. 11. 25 ～ 2011. 12. 04	
		マレーシア	ペナン	マレーシア科学大学 トゥアック・ファウ ジア博物館&ギャラリー	2012. 01. 09 ～ 2012. 02. 04	
		マレーシア	クアラルンプール	国立美術館	2012. 02. 20 ～ 2012. 03. 20	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
		オーストラリア	シドニー	ジャパンファウン デーション・ギャラ リー	2011.04.07 ～ 2011.05.28	
3	キャラクター大 国、ニッポン (B)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2011.04.07 ～ 2011.05.21	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展セット。1950～60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター（ウルトラマン、ハローキティ、ガンダム）などを分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を生文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介
		ドイツ	ビーティヒハイ ム・ビッシンゲン	ビーティヒハイム・ ビッシンゲン市役所	2011.06.05 ～ 2011.07.31	
		ポルトガル	リスボン	オリエント博物館	2011.08.19 ～ 2011.09.18	
		スペイン	バルセロナ	カサアジア	2011.10.11 ～ 2011.11.20	
		スペイン	マドリード	ABCミュージアム	2011.11.30 ～ 2012.01.08	
		英国	ノリッジ	センズベリーセン ター・フォー・ビ ジュアルアーツ	2012.02.04 ～ 2012.08.12	
4	90年代の日本の絵 画	韓国	釜山	新世界センタムシ ティ6階 新世界 ギャラリー	2011.05.13 ～ 2011.05.31	現在高い評価を得ている会田誠、小林孝亘、奈良美智、村上隆等9名の作家が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介
		韓国	ソウル	在韓国大使館公報文 化院	2011.06.10 ～ 2011.06.25	
		韓国	済州	済州学生文化院	2011.08.10 ～ 2011.08.19	
		中国	北京	清華大学美術学院美 術館	2011.10.02 ～ 2011.10.16	
		中国	大連	大連市第十五中学	2011.10.23 ～ 2011.11.04	
		中国	合肥	合肥久留米友好美術 館	2011.11.25 ～ 2011.12.08	
		中国	ハルビン	黒龍江省博物館	2011.12.17 ～ 2012.01.06	
		中国	重慶	重慶三峡博物館	2012.01.20 ～ 2012.02.15	
		中国	広州	広州市五三美術館	2012.03.02 ～ 2012.03.25	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	くまもとアートポリス	インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	2011.04.21 ~ 2011.05.16	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
		インドネシア	メダン	北スマトラ州立博物館	2011.06.09 ~ 2011.07.01	
		インドネシア	スラバヤ	11月10日工科大学(スラバヤ工科大学)	2011.09.15 ~ 2011.10.10	
		ブルキナファソ	ワガドゥグー	中央図書館	2011.11.28 ~ 2011.12.22	
		ギニア	コナクリ	ギニア国立博物館	2012.02.06 ~ 2012.02.27	
		モロッコ	ラバト	国立建築学院	2012.03.30 ~ 2012.04.19	
6	現代日本デザイン100選	オーストラリア	キャンベラ	豪州国立大学芸術学部ギャラリー	2011.04.07 ~ 2011.04.21	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の50年代に製作された作品13点を紹介
		オーストラリア	パース	ギャラリー・セントラル	2011.05.17 ~ 2011.05.31	
		オーストラリア	クラレンス	パーン・アンド・スクールハウス・ギャラリー	2011.06.20 ~ 2011.07.15	
		オーストラリア	シドニー	ジャパンファウンデーション・ギャラリー	2011.07.29 ~ 2011.09.17	
		ニュージーランド	ウェリントン	マッセイ大学ミュージアム・ビルディング ティーガーデン	2011.10.05 ~ 2011.10.26	
		インド	ムンバイ(ボンベイ)	ビクトル・メネゼス・コンベンションセンター	2011.12.18 ~ 2012.01.08	
		インド	チェンナイ	ラリ・カラ・アカデミー チェンナイセンター	2012.01.18 ~ 2012.01.27	
		インド	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター	2012.02.06 ~ 2012.02.15	
		インド	アーメダーバード	ナショナル・インスティテュート・オブ・デザイン	2012.03.02 ~ 2012.03.11	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
		インド	ラクナウ	ラリット・カラ・アカデミー ラクナウ	2012.03.23 ~ 2012.04.01	
7	現代日本の工芸	米国	グアム	グアム大学イスラセンター	2011.08.18 ~ 2011.09.09	陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて制作された工芸作品を「華」「侘び」「鋭」「歪み」「精緻」「花鳥」のテーマに分類して紹介
		フィジー	スバ	フィジー博物館	2011.10.04 ~ 2011.10.27	
8	現代日本の陶磁器	ウズベキスタン	タシケント	平山郁夫国際文化のキャラバンサライ	2011.05.06 ~ 2011.05.19	特色のある窯をもつ有田、唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸、美濃、益子で、日本の窯の伝統を引き継ぎながら優れた陶芸作品を生み出している若手作家の作品71点を紹介
		ウズベキスタン	サマルカンド	ギャラリー・チョルスー	2011.05.27 ~ 2011.06.16	
		エチオピア	アディスアベバ	エチオピア近代美術館	2011.09.01 ~ 2011.09.23	
		クウェート	クウェート	イスラム遺産美術館 アメリカニ文化センター	2011.12.04 ~ 2012.01.27	
9	自然に潜む日本	モンゴル	ウラン・バートル	ザナバザル美術館	2011.05.02 ~ 2011.05.31	写真家の矢萩喜徳郎が「ありのままに日本の自然をみつめることで、写真を通して日本の現在の姿を立ち上がらせよう」と日本全国を巡り撮影した写真集『Hidden Japan-自然に潜む日本』から選ばれたモノクロ写真85点を紹介
		ミャンマー	ヤンゴン	ギャラリー65	2011.07.22 ~ 2011.08.14	
		パキスタン	イスラマバード	国立美術館	2011.11.16 ~ 2011.12.27	
		カンボジア	プノンペン	日本カンボジア人材開発センター	2012.02.13 ~ 2012.03.21	
10	写楽再見	米国	ウィンターパーク (コロラド州)	コーネル・ファイン・アーツ・ミュージアム	2011.04.16 ~ 2011.06.12	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵で有名な江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介。写楽の大首絵(複製)28点、グラフィックデザイナーによるポスター28点、現代美術家による絵画・彫刻・陶芸・版画など23点により構成
		ウルグアイ	モンテビデオ	国立視聴覚博物館	2011.07.22 ~ 2011.09.04	
		パラグアイ	アスンシオン	パラグアイ日本・人 造りセンター	2011.10.20 ~ 2011.11.26	
		ベネズエラ	カラカス	ロムロ・ガジェーゴ ラテンアメリカ研究 センター	2012.02.25 ~ 2012.03.11	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
11	建築展「3.11—東日本大震災の直後、建築家はどうか対応したか」	日本	仙台市	東北大学都市建築学専攻仮設校舎 KATAHIRA10	2012.03.02 ~ 2012.03.18	東日本大震災からの復興に向けて日本の建築家たちが展開している様々な活動を、写真パネルや模型を使って紹介。震災直後の避難所、次段階としての仮設住宅、最終段階には災害に強い家と街づくり、と、段階ごとに整理してアイデアを展開。本展監修者の五十嵐太郎（東北大学大学院教授）による講演会も併せて実施 【東日本大震災復興支援事業】
12	新世代アーティスト	コスタリカ エクアドル ボリビア ボリビア 米国	サンホセ キト サンタ・クルス ラパス サン・アントニオ	現代美術デザイン館 コンテンポラリー・アート・センター サンタクルス文化センター ボリビア国立美術館 ブルースター・コンテンポラリーアートセンター	2011.09.22 ~ 2011.10.30 2011.06.01 ~ 2011.07.31 2011.11.18 ~ 2011.12.07 2011.12.22 ~ 2012.01.31 2012.03.01 ~ 2012.05.05	1990年代中盤以降、大きな注目を集めている11人の日本人若手作家の現代美術展。視覚的にインパクトに富み、物づくりへの強いこだわりの感じられる作品を中心に、合計42点(絵画、彫刻、写真、ビデオなど)により構成
13	Struggling Cities	米国 米国 米国 カナダ 米国	シアトル ベルビュー(ワシントン州) ロサンゼルス トロント シカゴ	シアトル・センター MulvannyG2 日米文化会館 ドイザキギャラリー トロント日本文化センター イリノイ工科大学	2011.04.01 ~ 2011.04.03 2011.04.14 ~ 2011.04.29 2011.06.11 ~ 2011.07.31 2011.08.19 ~ 2011.12.09 2012.01.09 ~ 2012.01.31	今から50年前、1960年代に日本で盛り上がりを見せた都市への実験的な提案を入口に、現代に至るまでの都市を取り巻くさまざまな状況や、現在の東京に見られる特異性を、建築や都市の模型のみならず、アニメーションや写真スライド、映像といった多様なメディアを交えながら検証
14	スピリトを写す	ブルガリア コソボ マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 ボツワナ	ソフィア プリシュティナ スコピエ ハボローネ	ブルガリア国立美術館ギャラリー コソボ・アート・ギャラリー スコピエ市ミュージアム ボツワナ国立博物館	2011.05.12 ~ 2011.06.12 2011.07.07 ~ 2011.08.08 2011.09.17 ~ 2011.09.30 2011.11.08 ~ 2011.11.27	精神的な基盤が失われた時代に、物質的な現実に隠された見えないものがあるであろう価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
		アルジェリア	アルジェ	ライ宮殿芸術センター	2012.01.28 ~ 2012.02.18	
15	手仕事のかたち	スロベニア	リュブリャナ	スロベニア国立博物館	2011.03.14 ~ 2011.05.03	日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木竹工、紙など)及び、各地の工房で伝統的な技術を用いて創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介
		ヨルダン	アンマン	ヨルダン国立博物館	2011.07.17 ~ 2011.07.31	
		リトアニア	ビリニュス	ピクチャー・ギャラリー	2011.09.02 ~ 2011.10.04	
		ベラルーシ	ミンスク	ベラルーシ共和国国立美術館	2011.10.17 ~ 2011.11.10	
		ベラルーシ	ブレスト	ブレスト州立郷土博物館	2011.11.14 ~ 2011.12.10	
		スロバキア	ブラチスラバ	スロバキア国立博物館	2012.01.15 ~ 2012.02.19	
		ウクライナ	チェルニヒフ	国立歴史的建築保存物「古代チェルニヒフ」	2012.03.16 ~ 2012.04.15	
16	美しい東北の手仕事	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2012.03.23 ~ 2012.05.19	東日本大震災から1年の節目に企画された展覧会。美しい東北の手仕事を取り上げ、現代の日本において文明が進み忘れ去られかけている、古代からの営みである手仕事の美しさを紹介。陶芸、漆芸、染織、金工、木竹工など、多岐に渡るジャンルの作品により構成
17	日本人形 (E)	カザフスタン	アスタナ	初代大統領博物館	2011.05.16 ~ 2011.06.05	日本古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」「文楽・歌舞伎人形」等、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
		カザフスタン	アルマティ	カザフスタン共和国中央国立博物館	2011.06.15 ~ 2011.07.03	
		トンガ	ヌクアロファ	バシリカ教会会議室	2011.07.28 ~ 2011.08.16	
		タイ	バンコク	クリスタルデザインセンター	2011.10.12 ~ 2011.10.23	
		タイ	チェンマイ	チェンマイ大学アートセンター	2011.11.04 ~ 2011.11.30	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
		タイ	ナコンシータマラート	ムアン・コン・コン テンポラリーアート ギャラリー	2011.12.09 ~ 2012.01.14	
		タイ	パヤオ	パヤオ大学オーディ トリウム	2012.02.08 ~ 2012.03.07	
18	日本人形 (F)	米国	ナッシュヴィル	テネシー・アート・ リーグ	2011.03.09 ~ 2011.04.23	日本古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」「文楽・歌舞伎人形」等、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
		米国	メンフィス	レボスール小児病院	2011.05.04 ~ 2011.05.25	
		チリ	サンティアゴ	プロビデンスシア区文 化院	2011.06.23 ~ 2011.08.05	
		コロンビア	ボゴタ	ガブリエル・ガルシ ア・マルケス文化セ ンター	2011.08.25 ~ 2011.09.30	
		グアテマラ	グアテマラ	国立考古学民俗学博 物館	2011.11.03 ~ 2011.11.27	
		ドミニカ共和国	サントドミンゴ	人類学博物館	2012.01.12 ~ 2012.02.02	
		米国	イースト・ランシ ング	ミシガン州立大学イ ンターナショナルセ ンター	2012.02.27 ~ 2012.03.29	
19	日本の現代写真	エルサルバドル	サンサルバドル	ショッピングセン ター「ガレリアス」 展示場	2011.04.15 ~ 2011.05.08	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれをとりまく風景」をテーマに、森山大道、東松照明、荒木経惟を含む23名の写真家による、計76点の作品を紹介
		エルサルバドル	サンタアナ	西部地方博物館 特 別展示場	2011.05.20 ~ 2011.07.04	
		ホンジュラス	テグシガルパ	チミニケ学習セン ター	2011.09.01 ~ 2011.09.30	
		ペルー	リマ	日秘文化会館内神内 ギャラリー	2011.11.02 ~ 2011.11.30	
		ペルー	アレキパ	アレキパ市庁舎	2011.12.16 ~ 2011.12.30	
		米国	ウィンストン・ セーレム	ウェイク・フォーリ スト大学人類学博物 館	2012.01.31 ~ 2012.03.31	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
20	日本の子ども60年	キューバ	ハバナ	ホセ・マルティ記念館	2011.07.07 ~ 2011.07.23	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後から現代にいたる日本の60年間の歩みを振り返るとい趣旨のもと、木村伊兵衛、土門拳を含む97名の写真家により撮影された子供達の写真100点を紹介
		キューバ	サン・ホセ・デ・ラス・ラハス	サン・ホセ市立ギャラリー	2011.08.05 ~ 2011.08.21	
		キューバ	サン・アントニオ・デ・ロス・バニョス	サン・アントニオ・デ・ロス・バニョス県立美術センター	2011.08.26 ~ 2011.09.13	
		メキシコ	モンテレイ	ヌエボレオン大学	2011.04.11 ~ 2011.06.20	
21	「戦後日本の変容」展	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2011.10.20 ~ 2012.01.14	1945年から1964年までの日本戦後社会の変容を、11名の写真家の作品でたどる
		ドイツ	ベルリン	ベルリン写真美術館	2012.03.09 ~ 2012.06.17	
22	パラレル・ニッポン	ギリシャ	アテネ	ベナキ美術館	2011.05.30 ~ 2011.07.03	過去10年(1996年~2006年)に竣工した日本の建築から、代表的な110作品を選び、日本の社会文化状況と対比させながら紹介
		クロアチア	ザグレブ	ザグレブ現代美術博物館	2011.07.19 ~ 2011.08.06	
		セルビア	ベオグラード	セルビア中央銀行ギャラリー	2011.09.15 ~ 2011.10.11	
		イラク	バグダッド	アカデミック・センター	2011.11.20 ~ 2011.11.26	
		イラク	バグダッド	バグダッド大学工学部建築学科	2011.11.30 ~ 2011.12.09	
		バーレーン	マナーマ	国立博物館内「ギャラリー1」	2012.02.07 ~ 2012.02.27	
23	武道の精神	サウジアラビア	リヤド	ジャナドリヤ祭日本館	2011.04.13 ~ 2011.04.29	日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展観。日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介
		ロシア	ウラジヴォストク	アルセーニエフ博物館	2011.07.08 ~ 2011.07.29	
		ロシア	ハバロフスク	極東美術館	2011.08.16 ~ 2011.09.04	
		ロシア	ユジノサハリンスク	サハリン州立美術館	2011.09.20 ~ 2011.10.13	

造形美術事業費

事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
	フランス	ニース	パーク・フェニックス	2011. 11. 19 ~ 2012. 01. 01	
	アゼルバイジャン	バクー	アゼルバイジャン国立美術館	2012. 02. 03 ~ 2012. 03. 04	

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 海外展助成

海外の美術館・博物館等が海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 74,878,426 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
1	The 18th-19th Century Japan through Her Painting and Prints Meeting with the West: Collection from Kobe City Museum	韓国	ソウル	Gallery 1&3, Museum of Art, Seoul National Gallery	ソウル大学校美術館	2011.04.20 ~ 2011.05.29	日本の画家が初めて西洋美術とその技法に出会った18~19世紀の作品(司馬江漢、小田野直武、葛飾北斎等)を神戸市博物館の協力のもとに展示。美術におけるアジアの近代化を調査したソウル大学校美術館の長期プロジェクトの成果展でもあり、韓国における日本の近代化研究の新しい試みとして実施
2	Elegant and Goodness: Beautiful People of East Asia	韓国	ソウル	梨花女子大学校美術館	梨花女子大学校美術館	2011.05.04 ~ 2011.07.23	日本・韓国・中国の絵画、彫刻、写真等近現代美術作品を「義人」「仙人」「芸人」「善人」の4セクションに分けて展示、東洋の文化的アイデンティティを検証
3	Gyeonggi International Ceramic Biennale 2011	韓国	ソウル	利川世界陶磁センター	韓国陶芸財団	2011.09.24 ~ 2011.10.23	京畿世界陶磁ビエンナーレの第6回目。今回は、韓国で陶磁器生産で名高い利川市で開催され、日本関連としてワークショップを実施
4	In Between: Art Brut in Korea and Japan	韓国	ソウル	誠信女子大学校美術館	誠信女子大学校美術館	2011.09.28 ~ 2011.11.24	アール・ブリュット(アウトサイダー・アート)は、ヨーロッパを発祥地として日本でも滋賀県の「NO-MA」を中心に大きな展開を見せている。認知度の低い韓国において日韓両国の作家約60名がアール・ブリュット展を実施し(誠信女子大学校美術館)、韓国における当分野への意識向上を図る
5	上海日本映画・テレビ・アニメ展示	中国	上海	上海環球金融中心	Japan China Friendship Film Festival Executive Committee	2011.06.11 ~ 2011.06.17	第1部では「映画の旅」と題して映画が撮影された日本各地を紹介。第2部「アニメ展示会」では日本を代表するアニメを紹介、展示。第3部「震災復興」では被災地である東北各県を紹介
6	Lost World	中国	北京	スリー・シャドウズ・フォトグラフィック・アートセンター	スリー・シャドウズ・フォトグラフィック・アートセンター	2011.06.25 ~ 2011.07.31	北京で高橋ジュンコがレジデンス期間中に制作した新作「都市のなかの人の姿」及び、近作の映像作品「Tokyo Mid」や写真「Untitled」を展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
7	Masashi Echigo: Everything is illuminated	インドネシア	ジョグジャカルタ	Jogja National Museum	Jogja National Museum	2012. 02. 16 ~ 2012. 03. 30	欧州で活動している日本人作家越後正志をレジデンス作家として招へい、同氏のアジア初の個展を実施。レジデンスを通じてインドネシア(特にジョグジャカルタ)の文化を調査し、その成果をインスタレーションとして展示。キュレーターはインドネシア芸術大学(ISI)教授のスワルノ・ウィストロトモ
8	We oui! by Fumiko Imano (part of M1 Singapore Fringe Festival 2012: Art and Religion)	シンガポール	シンガポール	TBC	M1 Singapore Fringe Festival	2012. 02. 15 ~ 2012. 02. 23	M1 Singapore Fringe Festival は、シンガポール及び海外からのアーティストを招へいし、演劇、ダンス、音楽、ビジュアルアーツなどを紹介する年に一度のフェスティバル。この開催に合わせて、今年度は日本人作家 Imano Fumiko の写真とビデオからなるTwins シリーズの展覧会を実施
9	Mieko Tadokoro: A Retrospective	インド	ゴア	Gallery Daguerre	Goa Center for Alternative Photography	2012. 03. 24 ~ 2012. 03. 30	針穴写真を専門に日本とフランスで活動する写真家田所美恵子のインド初の回顧写真展。2010年インドで初めて2針穴写真の世界的コンテストを実施したGoa Center for Alternative Photographyの主催、ゴアのGallery Daguerreで実施
10	Japan in Sydney: Arthur Lindsay Sadler, Japan and Australian Modernism 1920s-1930s	オーストラリア	キャンベラ	ユニバーシティ・オブ・シドニー・アート・ギャラリー	ユニバーシティ・オブ・シドニー・アート・ギャラリー	2011. 04. 03 ~ 2011. 06. 26	ロンドンに生まれ1900年代初頭12年間にわたり日本で教鞭を執ったのち、シドニー大学の東洋学教授となり日本美術の紹介と交流に尽力したA. L. サドラーの業績と影響を検証した展覧会。日本の近代版画を中心にオーストラリア、ヨーロッパの作品を展示、相互に与えた影響を探るとともに、同氏の業績を考察
11	Tokuji Yoshioka: Waterfall	オーストラリア	シドニー	シャーマン現代美術財団	シャーマン現代美術財団	2011. 10. 07 ~ 2011. 12. 17	プロダクト、空間、パッケージ、建築等、多岐にわたりプロダクトデザインの世界で活躍中の吉岡徳仁の個展。Waterfall 2005-2006、The Light 2009、Water Block 2002等4作品を展示。同氏はアーティスト・イン・レジデンス活動を通して日豪のアート/デザイン交流にも貢献
12	Japan: Tradition. Innovation.	カナダ	ガティノー	Canadian Museum of Civilization	カナダ市民発展博物館	2011. 05. 19 ~ 2011. 10. 10	日本の「温故知新」をテーマとして、北米での現代日常社会に普及している日本製品や日本のデザインが、江戸時代の伝統文化にルーツを有することに注目した比較展示を実施
13	Hiroshima: Works by Ishiuchi Miyako	カナダ	バンクーバー	UBC Museum of Anthropology	民族学博物館	2011. 10. 14 ~ 2012. 02. 12	写真家石内都による「ひろしま」シリーズの展覧会。広島記念資料館に保管されている、原爆で命を落とした人々の遺品などを撮影した作品を海外で初めて展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
14	Little Tokyo Design Week: Future City, Ultra Expo Exhibition	米国	ロサンゼルス	全米日系人博物館 (JANM)	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	2011.07.13 ~ 2011.07.17	阿部仁史(UCLA教授)の企画したリトル東京の未来都市計画を中心に展示。創造的、かつ持続可能な未来都市デザインを提示
15	The Artist's Touch, the Craftsman's Hand: Three Centuries of Japanese Prints from the Portland Art Museum	米国	ポートランド	ポートランド美術館	ポートランド美術館	2011.10.01 ~ 2012.01.22	ポートランド美術館所蔵の浮世絵および版画展。芸術的、技術的、文化的な側面から日本の版画の300年の歴史を紹介
16	Exchange and Evolution: World Wide Video Long Beach 1974-1999	米国	ロングビーチ	ロングビーチ美術館	ロングビーチ美術館	2011.10.07 ~ 2012.02.12	ゲッティ財団企画のPacific Standard Time: Art in LAの一部を利用して構成した展覧会。出光真子、久保田成子、中島こうの作品を中心に現代ビデオアート展を実施
17	Luminous: the Art of Asia	米国	シアトル	シアトル美術館	シアトル美術館	2011.10.13 ~ 2012.01.08	シアトル美術館前東洋美術部長の白原由起子監修。日本5カ所を巡回した「美しきアジアの玉手箱」展を元に米国で展覧会を実施
18	Prospect 2 New Orleans	米国	ニューオーリンズ	The New Orleans of Art	USビエンナーレ	2011.10.22 ~ 2012.01.29	ハリケーンカトリーナ後のニューオーリンズ市復興事業として開催されているビエンナーレ。日本人作家、小沢剛とジュン・グエン=ハツシバ2名が訪米し参加
19	Storytelling in Japanese Painting exhibition and related catalogue	米国	ニューヨーク	メトロポリタン美術館	メトロポリタン美術館	2011.11.19 ~ 2012.05.06	メトロポリタン美術館日本美術ギャラリーにて「日本の物語絵」展を実施。コレクション20点を含む全90点のテーマ別展示の他、学術会議、フィルム上映も実施
20	The Heart of Echizen: Wood Fired Works by Contemporary Echizen Masters	米国	ブリッジウォーター(マサチューセッツ州)	ブリッジウォーター大学	ブリッジウォーター大学	2012.01.18 ~ 2012.12.09	現代の越前焼きの作品を展示。米国内3大学及び全米焼物会議の4会場を2年かけて巡回。越前町との協力の下、展覧会に合わせて陶芸家を米国各会場へ派遣
21	Woven Treasures from Japan: The Art of Hyoji Kitagawa	米国	ワシントン	テキスタイル美術館	テキスタイル美術館	2012.03.23 ~ 2012.08.12	桜祭り100周年事業の一環として、西陣織の人間国宝、喜多川俵二の作品を展示。同氏が訪米し講演会、ワークショップ等も実施

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
22	6th VentoSul - Biennial of Curitiba クリチバビエンナーレヴェントスル	ブラジル	クリチバ	Casa Andrade Muricy	Instituto Paranaense de Arte	2011.09.17 ~ 2011.11.20	ドイツ在住の日本人アーティスト西野達をはじめ、世界各国の作家を招へい。展覧会のほか、ワークショップ、講演会、フィルム上映、パフォーマンス、アーティストレジデンスプロジェクトなどのアートイベントを実施。総合ディレクターはAlfons HugとTicio Escobarの2名
23	Personal Structures	イタリア	ヴェネチア	Palazzo Bembo	Global Art Affairs Foundation	2011.05.31 ~ 2011.11.27	オランダのNPO、Global Art Affairs財団主催の、2011年ヴェネチアビエンナーレの公式イベント。オランダ人キュレーター2名が選ぶ28名のアーティストのグループ展。現代アートにおける哲学的テーマ(特に時間、空間、存在)を、一般オーディエンスにわかりやすく提示する。招へい作家は藤本由紀夫、遠藤利克、ハートビートササキ、宮島達男、マリナーアブラモヴィッチ、リーウーファン等
24	Ningyo. Bambole dal Giappone - Atto Secondo karakuri. Bambole Meccaniche	イタリア	トリノ	Palazzo Barolo	A. S. D. Yoshin Ryu	2011.11.05 ~ 2011.12.28	トリノで実施された日本からくり人形の展覧会。犬山市文化資料館や玉屋庄兵衛のコレクションから作品や写真パネルを展示
25	Gone with the Wind (Event versus Object): Takehisa Kosugi	英国	ロンドン	Raven Row	Raven Row	2011.06.08 ~ 2011.07.17	サウンドアート作家4名のグループ展。日本からは現代音楽家の小杉武久が参加し、インスタレーション、パフォーマンス、ラジオプログラムやスケッチなどの関連資料を出品。同国でサウンドアートやデザインを専攻する学生から注目を集めた
26	Junya Ishigami: Architecture as Air	英国	ロンドン	バービカン・アートギャラリー	バービカン・アートギャラリー	2011.06.23 ~ 2011.10.16	建築家石上純也の個展。会場であるロンドンのバービカン・アートギャラリーでコミッションワークを制作、完成。作品は、第12回ヴェネチアビエンナーレで金獅子賞を受賞した「空気の建築」。良質なアートを身近に感じてもらうことを目的とし、大規模なコミッションワークを実施
27	Japan's First Railway: color woodblock prints from the 1870s	英国	ヨーク	国立鉄道博物館	国立鉄道博物館	2011.07.11 ~ 2011.09.25	明治時代の鉄道の木版画40点を中心に、当時の工具やスケッチなど鉄道に関する資料をヨークの国立鉄道博物館で展示。大阪の交通科学博物館の他に、大英博物館やヴィクトリア&アルバート美術館からも作品を借用、版画や鉄道に関する資料を通して日本と英国における鉄道を比較。日本における鉄道の受容や、その後の近代化についても考察

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
28	Lost in Lace: new work by international artists, makers and architects	英国	バーミンガム	バーミンガム美術館	バーミンガム美術館	2011. 10. 29 ~ 2012. 02. 19	バーミンガムで行われたレースを中心としたテキスタイルのグループ展。17名の作家のうち、塩田千春など5名が日本から参加。「レースの空間へのプロジェクション」をテーマにレースと現代建築との関係性や、レースの持つ二面性を提示
29	Yayoi Kusama	英国	ロンドン	テート・モダン	テート・モダン	2012. 02. 08 ~ 2012. 06. 05	世界4都市を巡回した草間彌生の大規模回顧展。約60年間に及ぶ作家の制作活動を、初期の珍しい紙作品からドローイング、インスタレーション、映像など、数多く展示し、作家の絶え間ない想像力を観客に提示。更に、同氏が次世代に及ぼした影響についても考察
30	Robotinity Exhibition in Ars Electronica Center	オーストリア	リンツ	Ars Electronica Center	Ars Electronica Linz GmbH	2011. 03. 10 ~ 2011. 09. 06	ロボットを文化と思想、芸術と技術、社会を横断する複合的な表現物と捉え、ロボットらしさとは何かを考える展覧会。石黒浩（大阪大学教授）の研究と、クワクボリョウタ（現代美術作家）の作品を欧米の作品と比較しながら展示
31	Hello Kitty, Hello Holland!	オランダ	レイデン	Japan Museum Sieboldhuis	Japan Museum Sieboldhuis	2011. 09. 10 ~ 2011. 11. 30	2011年のシーボルトハウスの特別テーマ「kawaii」を紹介する事業のハイライトとしてハローキティ展を実施。ハローキティがどのように日本の生活に密着し、愛されているのかを検証するとともに、シーボルトの江戸コレクションとの比較、変容も考察
32	Exhibition NUL/Zero	オランダ	スヒーダム	スヒーダム美術館	スヒーダム美術館	2011. 09. 11 ~ 2012. 01. 22	1958～1967年、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、日本等で同時代的に起こった芸術運動「ゼロ運動」を国際的な視点から検証。デュッセルドルフのゼロ財団の協力のもと、「具体」メンバーを中心として草間彌生、金山明など7名が参加
33	The Nature Spirit Contemporary Japanese Textile Art	スペイン	サラマンカ	Centro Culture Hispano Japones	世界染織アート	2011. 09. 15 ~ 2011. 10. 28	日本テキスタイル委員会に所属する16名の作家によるテキスタイルの展覧会。それぞれ自然と結びついたキーワード(森、湖等)をモチーフに作品を展開、最先端の作品を展示
34	FAN11 (Animation Festival of Navarra)	スペイン	パンプロナ	Planetario de Pamplona	Artyco y Planetario de Pamplona	2011. 11. 28 ~ 2011. 12. 29	日本文化の共有を目的としたアニメフェスティバルの第9回目。説明パネルと映像を展示し、今日の日本アニメのルーツとなった手塚治虫のアニメ手法を提示
35	Simple Interactions. Sound Art from Japan	デンマーク	オシキル	ロスキルド現代美術館	ロスキルド現代美術館	2011. 09. 24 ~ 2011. 12. 18	13名の日本人アーティストの作品を展示し、日本の現代音響芸術を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
36	The eye is a lonely hunter: Images of Humankind	ドイツ	マンハイム	Kunsthalle Mannheim	Fotofestival Mannheim Ludwigshafen Heidelberg e.V.	2011.09.10 ~ 2011.11.06	隔年開催される写真フェスティバルでの展示。2011年は2名のキュレーターにより「The eyes is lonley hunter」展を開催、日本からは川内倫子が参加
37	Samurai, Stars and Beautiful Women	ドイツ	デュッセルドルフ	Stiftung museum kunst palast	Stiftung museum kunst palast	2011.09.10 ~ 2012.01.15	浮世絵コレクターが1960年代にデュッセルドルフ市に寄贈したコレクション220点の中から国芳、国貞の浮世絵80点を展示。日独交流150周年記念事業
38	Hiroshi Kawano: The Philosopher at the Computer	ドイツ	カールスルーエ	カールスルーエ芸術メディアセンター	カールスルーエ芸術メディアセンター	2011.09.24 ~ 2012.01.08	メディアアートを専門とするZKM主宰の展覧会。コンピューターアートの先駆者である川野洋が、コンピューター創世記に果たした役割の重要性を70点のアート作品によって検証
39	Joseph Beuys: 8 Days in Japan and the Utopia of Eurasia	ドイツ	ベルリン	Nationalgalerie at Hamburger Bahnhof	Nationalgalerie at Hamburger Bahnhof	2011.10.08 ~ 2012.01.01	2009~2010年に水戸芸術館で開催された「日本のボイス8日間：ユーラシアユーロピア」展で上映されたボイスのビデオおよび所蔵作品を展示
40	150 Years of Diplomatic Relations Between Japan and Germany	ドイツ	マンハイム	Reiss-Engelhorn-Museums	Curt-Engelhorn-Foundation for the Reiss-Engelhorn-Museums	2011.11.06 ~ 2012.02.05	日独交流150周年の外交の歴史に焦点を当てた展覧会をマンハイムのエンゲルホルン美術館で実施。徳川財団より借用の陶磁器など歴史的資料を展示。日独交流150周年記念事業
41	Takehito Koganezawa - Schattenspiele	ドイツ	ベルリン	Haus am Waldsee	Haus am Waldsee, Ort Internationaler Gegenwartskunst	2012.03.02 ~ 2012.05.20	ベルリン在住の現代美術作家小金沢健人の作品を包括的に紹介する大規模個展。ドローイング50点の他、ビデオ作品を展示
42	Dialogue from DNA from Chiharu Shiota L'arc-en-ciel de l'Humanite from Shigeeko Hirakawa	フランス	メル	Saint Savinien Church	メル現代美術国際ビエンナーレ	2011.06.25 ~ 2011.09.18	フランス西南部で夏に行われるメル現代美術国際ビエンナーレでの、塩田千春と平川滋子の展示。塩田はメル市の住民が、自身の反省について書きつづった靴4000足の提供を受け、それらの靴をロマネスクの教会の天井から赤い糸で吊るすインスタレーションを実施。平川はメル市の公園に大きな特殊繊維の虹を制作。世界各国から21名の作家を招へい
43	100% Vent des Forets: group exhibition with presentation of a work by Japanese artist Fujiko Nakaya	フランス	フレズオウン	(屋外展示)	Le Vent des Forets	2011.07.16 ~ 2011.07.31	「森林の風」団体がロレーヌ地方の村で毎年開催しているレジデンス型の現代美術プロジェクト。2011年は中谷芙二子が参加、森林という環境を活かして作品を展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
44	Jikken Kobo / The Experimental Workshop	フランス	パリ	ベトンサロン	ベトンサロン	2011.09.09 ~ 2011.10.29	「実験工房」の作品や資料を展示し総合的に紹介した展覧会。会期中に映画やパフォーマンスなどの関連イベントも企画、多岐に渡る「実験工房」の活動と50年代の日本のアートシーンに関する作品や資料（「実験工房」や他団体の70点以上の作品や資料）を展示
45	7th International Triennial of Contemporary Textile Arts The 5 Continents - Woven World	ベルギー	トゥルネー	Museum of Tapestry	トゥルネー国際タペストリー・テキスタイル・トリエンナーレ	2011.06.10 ~ 2011.09.25	現代織物の国際イベント。ヨーロッパ、アフリカ、アジア、アメリカ、大洋州より35名以上のアーティストを招へい。アジア地域代表として6名の日本人アーティストが参加
46	Subtle Construction 複雑な建造物	ポルトガル	リスボン	プラットフォーム・リボルバー	プラットフォーム・リボルバー	2011.11.15 ~ 2011.11.19	田口行弘、久保田弘成の2名の日本人アーティストを含む7名のアーティストによる展覧会。「具体」やHigh Red Centerなど、日本の前衛美術グループ等により探求された現代美術の空間について、そのルーツと日本の影響を検証
47	Japanese Artists' Exhibition <i>Dialogues</i> 日本芸術展「対話」	エストニア	タリン	Gallery Atrium Gallery HOP Gallery Luhike jalg Gallery or Art Museum of Estonia	エストニア日本協会	2011.08.31 ~ 2011.10.07	伝統と現代の対話に焦点をあて、写真展（相原恭子）、陶芸展（梶なな子）、染織展（時友尚子）、書道展（神谷寿広）を実施
48	Japanese Artists in Tbilisi for the Artisterium 2011 (アーティストリウム2011)	ジョージア	トビリシ	Europe House Georgia Tbilisi State Academy of Art Georgian National Museum Goethe Institute Tbilisi History Museum Tbilisi State Museum of Georgian Literature Gala Gallery	Artisterium Association	2011.10.07 ~ 2011.10.16	毎年トビリシで行われる国際現代美術展、アーティストリウムに、日本から石井潤一郎、岩井優の2名のアーティストが参加。展覧会のほかにパフォーマンス、ワークショップ、シンポジウムなどを実施

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
49	Chawan Expo, international exhibition for the traditional Japanese teacup interpreted by non-Japanes	クロアチア	オパチヤ	Croatian Museum of Turism-Art Pavilion Juraj Sporer	International ceramic centre Atelier Janja Gora	2011.09.09 ~ 2011.09.23	欧州在住の20名の作家による140点の「茶碗」の展示並びに茶碗製作デモンストレーションを実施。日本の茶道デモンストレーションも同会場で実施
50	Photo Reference: Photographic Image in Contemporary Japanese Art Practices	セルビア	ベオグラード	The Cultural Centre of Belgrade	MIKSER	2012.03.27 ~ 2012.04.17	青山悟、城田圭介など70年代生まれの日本の若手作家による写真をベースとした現代美術展を実施
51	Japanese Sound & Video Art 2011 with Yoshio Machida	ブルガリア	ヴェルナ	Gallery Graffit, City Art Gallery	Association our World	2011.09.28 ~ 2011.10.06	スチールパン奏者でアーティストの町田良夫の作品「Scape」と、ドローイングとビデオインスタレーションで構成される新作の「Maru」を展示。同会場で会期中にスチールパンの演奏会も実施
52	Japanese Perspective at the 14th International media Art Biennale WRO 2011	ポーランド	ヴロツラフ	National Museum	Foundation WRO Center for Media Art	2011.05.10 ~ 2011.05.15	2011年のメディアアートビエンナーレWRO展ではJapanese Perspectiveと題して、第13回文化庁メディア芸術祭の入選作品を展示。五島一浩など6名の作家を招へい、レクチャーやワークショップを実施
53	Suda Yoshihiro	ポーランド	クラクフ	クラクフ市日本美術技術博物館マンガ	クラクフ市日本美術技術博物館マンガ	2011.07.08 ~ 2011.08.28	現代美術作家須田悦弘の個展。京都芸術大学の加須屋明子がキュレーションを実施
54	Japanese comic is presented in Macedonia and Kosovo	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	ヴェレス	マケドニア・コミック・センター	マケドニア・コミック・センター	2011.10.05 ~ 2011.10.16	日本文化に触れ合う機会の少ないマケドニアで日本の漫画を紹介。漫画家の高浜寛を日本から招へい、ワークショップを実施
55	Internalized World: Contemporary Photography from Japan	リトアニア	ビリニュス	P1 カルチャー・メニュー	P1 カルチャー・メニュー	2011.09.11 ~ 2011.10.15	EUジャパンフェストディレクターの菊田樹子をスペシャルゲストとして招へい。4名の若手写真家も招へいし、教育プログラムを実施
56	Kaunas Biennial TEXTILE 11: Rewind-Play-Forward	リトアニア	カウナス	National Museum of M.K. Ciurlionis	カウナス芸術家支援基金	2011.09.22 ~ 2011.12.04	ビジュアルアートとテキスタイルの展示、コンテンポラリーダンス、国際会議などを実施。日本人アーティストとして、須藤玲子の個展、講演会、ワークショップを開催

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
57	I fought the X and the X won	ルーマニア	クルジャボカ	Art Museum	Art Act Cultural Association	2011.04.15 ~ 2011.05.15	21カ国の現代アーティスト作品を紹介する国際現代美術展。日本からは中川太郎平の作品を紹介
58	Media Forum of the Moscow international Film Festival	ロシア	モスクワ	Club Arma 17	Center for Art and Culture MediaArtLab	2011.06.24 ~ 2011.06.27	モスクワ国際映画祭メディアフォーラムで池田亮司によるパフォーマンスおよびトークを実施。会場のモスクワ近代美術館Garage Centerでは「Expanded Cinema」と題してゴダール、ゲイリー・ヒル、ハルン・ファロッキ等の映像を紹介
59	4th Moscow Biennale of Contemporary Art <i>Rewriting Worlds</i>	ロシア	モスクワ	ArtPlay design center	モスクワ・ビエンナーレ芸術財団	2011.09.22 ~ 2011.10.23	第4回目となる現代美術展モスクワ・ビエンナーレに約80名の作家が世界から参加。キュレーターは作家でありZKM（カールスルーエ・アート・アンド・メディア・センター）館長でもあるペーター・ヴァイバル。日本から藤幡正樹、池田学、岡本光博、鳥光桃代、照屋勇賢、小沢剛、鈴木康博、宇治野宗輝が出品
60	The 12th Istanbul Biennial	トルコ	イスタンブール	Antrepo	イスタンブール文化芸術財団	2011.09.17 ~ 2011.11.13	2011年、第12回イスタンブール・ビエンナーレのテーマは「無題(Untitled)」。過去の出品作家も含め弁証法的内容の展覧会を実施。日本人建築家、西沢立衛が会場構成を担当

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 61,506,733 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	横浜トリエンナーレアーティスト招へい	Bartolini Massio Dewar Daniel Henry Gicquel Gregory Philippe Han Sungpil Henrik Mattias Hakansson Kempinas Zilvina N. S. Harsha Peter Coffin Pui-ock Sudsiri Song Dong	Artist Artist Artist Artist Artist Artist Artist Artsit Artist	イタリア フランス フランス 韓国 デンマーク 米国 インド 米国 タイ 中国	2011.07.01 ~ 2011.12.31	運営の主軸が2011年より横浜市に移った横浜トリエンナーレ2011について、出品アーティストの旅費を国際交流基金が負担することで、関係者間のネットワーク作りを支援
2	記者招へい	Anirudh Sridmar Chari Nicolas Jean- Pierre Baby Benjamin Arthur Davis Priya Bhatnagar Arianna Di Genova Aidan Dunne Ekaterina Vladimirovna Inozemtseva	Ganges Art Gallery 『SARL Liberation』 『Artinfo』 『Flash Art』 『Il Manifesto』 『The Irish Times』 『Gallery PROWN』	インド フランス 米国 米国 イタリア アイルランド ロシア	2011.08.01 ~ 2011.12.31	横浜トリエンナーレのオープニングに合わせ、影響力のある海外メディアに所属、または寄稿している美術記者や影響力のあるキュレーター等を招へいし、横浜トリエンナーレや日本国内の美術館視察などを通じ、日本の美術界に関する情報提供と理解の深化を図るとともに、記事の執筆と掲載を依頼する。また、滞在中に日本のキュレーターや関係者等との交流の場を設け、美術交流の促進を図る

造形美術事業費

事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
	Daniel Luke Fox	『Frieze』	米国		
	Ramunas Gerbutavicius	『Lietuvos rytas』	リトアニア		
	Raymond Brian Gill	『The Age』	オーストラリア		
	Samuel Valentin Herzog	『Neue Zurcher Zeitung』	スイス		
	Karsten Rosenkrantz Segelcke Ifversen	『Politiken』	デンマーク		
	Gisele Junqueira Kato	『Bravo!』	ブラジル		
	Salila Mahancherdchuwong	『A Day Magazine』	タイ		
	Meera Madeline Menezes	『Art India Magazine』	インド		
	Koh Mi-Seok	『東亜日報社』	韓国		
	Sharon Akemi Mizota	Art writer/Librarian	米国		
	Pham Thi Thu Thuy	『文化スポーツ』	ベトナム		
	Khetsirin Pholdhampalit	『National Multimedia Group PLC』	タイ		
	Jose Antonio Pinera Sabugueiro	Union Nacional de Escritores Artistas de Cuba	キューバ		
	Clemens Maria Rupert August Harvin Poellinger	『Svenska Dagbladet』	スウェーデン		
	Cristina Alexandra Sabau	『Factum Design』	ルーマニア		
	Smadar Sheffi	Haaretz Daily Newspaper Ltd.	イスラエル		

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
		Brian Sholis	『Artforum』	米国		
		Tobias Timm	『DIE ZEIT』	ドイツ		
		Truong Uyen Ly	『NAM』 『Elle』 『Heritage』	ベトナム		
		Wang Jin-Oh	『CNB NEWS』 『週刊CNBジャーナル』	韓国		
		Wang Yin	『南方周末』	中国		
		Ou Ning	『現代伝播集団』	中国		
3	日韓キュレーターミーティング	チョン・ユシン	アルコ・アートセンター キュレーター	韓国	2011. 10. 07 ~ 2011. 10. 09	日韓キュレーター各4名が3日間にわたり交流を深めながら、今日の課題や将来の新たな可能性について、意見交換を行う。2010年の第1回目に続く第2回目で、今年度は韓国のキュレーターを交えたキュレーターミーティングを実施、報告書を作成
		イ・スギョン	韓国オンライン美術館構築作業監督			
		ソ・ジンソク	オルタナティブ・スペース・ループキュレーター			
		イ・クオノ	新興大学兼任教授			
4	アジア次世代キュレーター会議	Aminuddin Tua Hamonangan	The Soemardja Gallery Director	アジア地域区分困難	2010. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	2005年度から開始した日本を含むアジア各国の若手キュレーターの会議。毎回、テーマを設定し、各国持ち回りで国際交流基金との共催で実施し、今年度は日本での開催。また、時期をかえて11月には「アジア大学美術館会議」を実施
		Liu Chunfeng	Art Museum of China curator			
		Vidya Shivadas	Independent curator			
5	日米学芸員交流	Joao Ribas	MIT List Visual Arts Center Curator	米国	2012. 02. 13 ~ 2012. 02. 25	米国各地から現代美術に関心を有する若手学芸員(約10名)を日本へグループ招へいし、美術館やギャラリー、作家アトリエ等への視察を通して、日本の現代美術の現況に対する理解と関心を深めてもらうとともに、日本人学芸員とのネットワーク構築の機会としてもらう
		Elizabeth Armstrong	Minneapolis Institute of Art Curator			
		David Norr	MOCA Cleveland Chief Curator			
		Miranda Lash	New Orleans Museum of Art Curator			

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
		Rehema Barber	Independent Curator			
		Andria Hickey	Public Art Fund Associate Curator			
		Diana Nawi	Guggenheim Foundation, Abu Dhabi Project Assistant Curator			
		Esa Nickle	Performa General Manager / Producer			
		Jenny Schlenzka	Museum of Modern Art Assistant Curator			
		Dan Byers	Carnegie Museum of Art Associate Curator			
		Sarah Demeuse	Independent Curator			
6	ニューヨーク近代美術館(MoMA)との情報交流			米国	2010. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	2012年秋の戦後日本美術ソースブック出版に向け、ニューヨーク近代美術館学芸員の来日調査および日米美術専門家会議を支援
7	李禹煥：無限の提示展	リー・ウーフアン(李禹煥)	美術家	米国	2011. 06. 24 ~ 2011. 09. 28	日本在住の韓国作家である李禹煥の北米初の回顧展。NYのグッゲンハイム美術館での展覧会開催に際し、カタログ及び人物交流を支援
8	国際シンポジウム(ヴォディチコ)	Douglas P. Fry Ewa Harabasz Krzysztof Wodiczko Robert M Ochshorn	人類学者 被招へい者配偶者 アーティスト アーティスト	米国 ポーランド	2011. 08. 01 ~ 2011. 08. 31	ポーランド出身のアーティストKrzysztof Wodiczko(クシシュトフ・ヴォディチコ、横浜トリエンナーレ2001出品作家)及び国内外の美術評論家、人類学者、哲学者等をパネリストとする国際シンポジウム(ヨコハマトリエンナーレ連携プログラム)の実施を支援することで、ヨコハマトリエンナーレを盛り上げるとともに、国内外の専門家のネットワーク形成、情報交換を促進する。シンポジウムは横浜で開催後、最終日には仙台に会場を移して実施
9	国際シンポジウム(美術展と国際展)	Dan Byers	キュレーター	米国	2011. 10. 23	美術館を拠点に運営し、実績を重ねてきた国際展。カーネギー・インターナショナルと台北ビエンナーレからゲストを迎え、美術館を拠点とする国際展のあり方や意義、継続性について検証しながら、国際展の新たな可能性を探る
10	伊藤若冲展関連シンポジウム	辻 惟夫	MIHO MUSEUM館長	米国	2012. 03. 30 ~ 2012. 04. 29	ワシントンナショナルギャラリーで開催される伊藤若冲展の関連シンポジウムに対して支援

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
11	ナショナルデー	Garcia Barossi Max Pizio Pereira Dias Sandro Schneebeli Speakman Duncan	Musician Musician Musician Musician Artist	ブラジル 英国 スイス スイス 英国	2011.08.01 ~ 2011.12.31	横浜トリエンナーレ期間中に各国大使館と協働し、世界各国・地域に焦点を当てた各種イベントを実施。実施国は英国(8/6)、スイス(10/1)、ブラジル(10/16)
12	ロシア学芸員招へい	Ainura Yusupova Alisa Prudnikova Andrey Martynov Dmitry Ozerkov Galina B. Shishkina Irina Malkova Karina Karaeva Margarita Petrova	国立アレクサンドル・プーシキン名称美術館 絵画・版画部長 国立現代美術センター・ウラル支部 支部長 モスクワ・ビエンナーレアート・ファウンデーション ゼネラル・ディレクター 国立エルミタージュ美術館 現代美術部長 ロシア国立東洋美術館 シニア研究員 サハリン美術館 副館長 国立現代美術センター(NCCA) 映画ビデオ・アート部長 アレクサンドル・ソルジェニーツィン名称ロシア人移民文化会館 カメラマン/編集者	ロシア	2011.12.05 ~ 2012.12.16	ロシア全土より様々な専門分野を持つ学芸員12名(東洋美術、日本画・版画、移民文化、宗教美術、織物等)を招へい。参加者は、東京及び地方(福岡、京都、奈良、直島、金沢)を訪問して、日本美術・美術館の現状を視察。日本側とのネットワークを構築し、今後の展覧会企画や運営について考える機会とする。更に、普段なかなか知ることのできないロシアの美術館事情を日本側関係者と共有することで、学芸員や美術館同士の交流促進を図る

造形美術事業費

事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
	Maria Polyakova	ロスフォト国立美術センター 展示プログラムコーディネーター			
	Nadezda Maykova	ピョートル大帝人類学・民族学博物館(クンストカメラ) コレクション収集管理部長			
	Ok Khay	サハリン美術館 シニア研究員			
	Sergey Shandyba	国立宗教史美術館 研究員			

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 市民青少年美術交流助成

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 1,669,850 円

	事業名	対象国	助成対象者	期間	事業内容
1	Drifting Images: 日韓フォトワーク ショップと展覧会	韓国	アート・アウトノ ミー・ネットワー ク	2011.11.10 ~ 2012.11.27	栗山斉、中里和人、大串祥子等、日本人の写真アーティストを韓国に派遣。現地の方々とのコミュニケーションを通して写真を制作し、ユーチューブやツイッター等、インターネット上で情報を発信。「写真ポエム」ワークショップも同時開催
2	第9回日中友好児童 絵画展	中国	特定非営利活動法 人 社会教育団体ベ ルボ会	2011.04.01 ~ 2011.09.30	ベルボ会（特定非営利活動法人社会教育団体）が教育支援を行っている福岡県と中国の幼稚園児、小学校児童の絵画作品を両国で公募、選考の上で展示。中国では上海、日本では福岡県にて展覧会を実施
3	日タイ高校生によ るワークショップ と展覧会	タイ	特定非営利活動法 人 素材探検隊	2011.08.18 ~ 2011.08.23	日、タイ両国の高校生がタイ、チェンマイにてハンカチにクレヨンで絵を描くワークショップを実施し、展覧会を開催。数年前からタイで開催していた高校生向けワークショップの実績が今回の事業へと発展
4	古代文字アート —新しい書の世界	フランス	天遊組	2011.04.20 ~ 2011.04.29	フランスのトゥール市で行われる森圭子（トゥーレーヌ日本語協会会長）主催の第二回「XXart展」にて、日本の新しい書の世界を伝えるための作品展示と共にトゥールの市民や小学生を対象にしたワークショップを実施。古代文字アートを日本で展開する天遊をはじめ、インストラクターとして天遊組メンバーの鶴田環江、広瀬麻奈、制作補助、記録担当として斉藤康代を派遣